

メタンハイドレート開発計画の促進

政策提言先 資源エネルギー庁

政策提言の要旨

我が国のエネルギーの安定供給を図るため、メタンハイドレートの商業化に向けた取組を加速化させるとともに、土佐沖をフィールドとする海洋産出試験の実施により産出技術の開発を推進することを提言します。

【政策提言の具体的内容】

- 1 エネルギーの安定供給の観点から有効であるメタンハイドレートの商業化に向けた取組を加速化することが必要です。
- 2 土佐沖のように水深が深く、潮流が速いという過酷な条件下での産出技術を開発できるよう、土佐沖をフィールドとする海洋産出試験を実施することが必要です。
- 3 土佐沖での海洋産出試験の活動拠点として高知新港を積極的に活用することが有効です。また、本県を商業化の際の陸揚げ基地と位置付けた開発計画を策定することが効果的です。

【政策提言の理由】

- 1 我が国のエネルギーの安定的な供給確保への貢献が期待されるメタンハイドレートの開発計画は、最終段階となるフェーズ3に入り、第2回海洋産出試験などを通じて技術基盤の整備等を行うこととなっています。
メタンハイドレートの商業化に向けては、平成30年度のフェーズ3終了後も平成30年代後半の「商業化プロジェクトの開始」を見据えて、技術開発課題の解決等を図っていく必要があることから、引き続き、国が関与して取組を加速化する必要があります。
- 2 日本近海に広く分布するメタンハイドレートを産出するためには、様々な条件下での産出技術を開発する必要があります。このため、水深が深く、黒潮による潮流が速い土佐沖をフィールドとする海洋産出試験を実施することが必要と考えます。
- 3 高知新港は太平洋に面しており、「地球深部探査船ちきゅう」の入港も可能です。さらに、本県には、高知大学と海洋研究開発機構が共同で海底から採取されたコア試料の保管・管理、先端的研究を行う高知コアセンターがあり、調査や開発研究において産学官の連携が期待できることから、海洋産出試験のための作業船の活動拠点として高知新港を積極的に利用していただくことが有効であると考えます。
また、高知新港は広い後背地もあり、高速道路や空港へのアクセスも良いことなど、土佐沖のメタンハイドレートの陸揚げの基地として有利な条件を有していますことから、高知県を位置づけた開発計画を策定し、取組を推進することが効果的であると考えます。

【高知県担当課】 林業振興・環境部 新エネルギー推進課